



地元現代美術作家展

ニュー・ロケーション

—視点の邂逅—

2019 9/10 tue — 9/23 mon

藤樹の里文化芸術会館 展示室 1, 2

9:00-17:00 月曜休館(月祝は火曜休館)

入場無料

主催 | 高島市・高島市教育委員会 協力 | CAF.Nびわこ展実行委員会


beyond
2020

地元現代美術作家展

ニュー・ロケーション — 視点の邂逅 —

2019年9月10日 [火] — 23日 [月祝]

藤樹の里文化芸術会館 展示室 1, 2

9:00-17:00 月曜休館 (月祝は火曜休館)

入場無料

主催 | 高島市・高島市教育委員会 協力 | CAF.Nびわこ展実行委員会

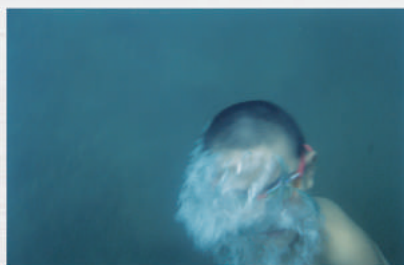
この度、藤樹の里文化芸術会館では、滋賀県を拠点として活動をしている6人の作家のグループ展を開催します。

日常や記憶を映し出す作品、他者との関係に切り込む作品、素材に対し独自のアプローチを図る作品など、多様な作品を展示します。彼らの作品を通して各々の視点が邂逅することによって、本展覧会が作家と鑑賞者を結びつけられるような、また新しい発見を得られるような場となることを願い、ここ滋賀高島という新しいロケーションの可能性を探ります。



井上 裕加里

1991年 広島県生まれ、滋賀県大津市在住
東アジアの近現代に潜在する歴史認識、文化観の差異や関係性、地域性をテーマに映像作品を制作している。



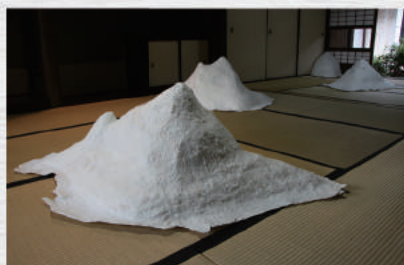
オザキ マサキ

1974年 広島県生まれ、滋賀県高島市在住
山村に住みながら、自然の中で遊ぶ子供たちや、小さな山村の日常などを撮り続け、ポートレートやドキュメンタリー分野で活動している。



八田 郁子

1991年 大阪府生まれ、滋賀県彦根市在住
「もの」や「動き」を含めた「生活」への興味を、身近にある既製品や日用品を用いたインスタレーションとして模索する。



日花 治子

1984年 滋賀県高島市生まれ、同地在住
白い固形石鹸や蜜蝋、針と糸などの素材を活かし、空間や景色、また記憶や気配を想起させるインスタレーションを展開する。



藤原 昌樹

1968年 大阪府生まれ、滋賀県大津市在住
軽快でリズムカルな、鉄を主とした金属彫刻を手掛ける。また、「消える彫刻」と定義したシャボン玉で遊ぶワークショップなども行っている。



三宅 佑紀

1994年 岡山県生まれ、京都府京都市在住
蓄積された記憶 / イメージの中から日常の風景をモチーフに、その奥に潜む気配を油彩やパステルを用いて描き出す。

関連イベント

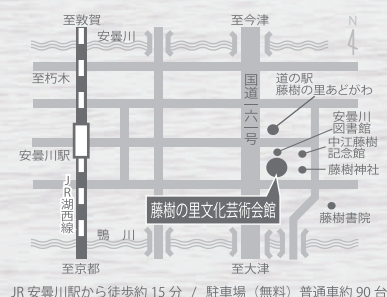
ワークショップ・アートであそぼ!

1. 「シャボン玉」で遊ぼう!
日時: 9月21日(土)10:00~12:00頃
2. 「現代詩」で遊ぼう!
日時: 9月21日(土)13:00~15:00頃

講師: 藤原 昌樹
対象: 年齢問わず
どなたでも参加できます。
定員: 先着 20名
無料・予約不要

アーティスト・トーク

日時: 9月23日(月祝)15:00~
参加費: 無料
トーク: オザキ マサキ



お問い合わせは
藤樹の里文化芸術会館

〒520-1224
滋賀県高島市安曇川町上小川1106
TEL: 0740-32-2461 / FAX: 0740-32-2460
E-mail: bungei@city.takashima.lg.jp